



カタログ

Octave OnSite Visualize

Autodesk Navisworks® 用BIMソフトウェア



Octave OnSite Visualize (旧iConstruct PRO) は、Autodesk Navisworks®向けの建築情報モデリング (BIM) ソフトウェアで、世界中の多くの業界に適しています。高度な機能を使用して、プロジェクトのパフォーマンスを向上させ、プロジェクトのライフサイクル全体でのコラボレーションと効率を促進し、高品質な条件付きモデルを確保します。

OnSite Visualizeについて

OnSite Visualizeは、エネルギー&リソース、AEC、インフラストラクチャ業界のエンジニアリング専門家のために、月に最大200時間を節約する受賞ソフトウェアです。

OnSite Visualize

コンセプトから完工業務、さらにはその先までプロジェクトを管理し、保全するためのプラグインとアドオンの完全なバンドルです。



Onsite Visualizeの機能

- データの追加
- Audit
- 重心位置計算
- 干渉
- 干渉管理
- 干渉レポート
- カラーコード
- QAビューの作成
- データリンク
- 計測ツール
- ダイナミックラベル
- データの分割
- データの出力
- 検索と置換
- Infobin
- Integrator
- iView出力
- レーザー計測点作成
- マクロによる自動化
- 計算機能
- モデルの比較
- モデルのコンパイル
- 複数ファイルの統合
- Photobin
- QRコードリーダー
- Quick Viewpoint
- ReConstruct
- Revit Client
- Room View Creator
- 類似物の選択
- BCFの入出力
- DWG変換
- IFC変換
- レポートの表示
- ゾーン機能

「統合された未来の約束に満足せず、今日の実用的なソリューションを必要とするすべての方々へ、プロジェクトに秩序と構造をもたらすソリューション、OnSite Visualizeがあなたをサポートします。OnSite Visualizeチームが持つ開発スキル、産業の洞察力、そして機動力の組み合わせにより、どんなに複雑な課題でも実装が容易です。数千の干渉を解決したり、図面のない設計・建設プロジェクトでメタデータを構造化することが可能です。」

Marius Jablonskis様 - Norconsult Technology Managersult

OnSite Visualize BIMソリューションによる建築インテリジェンスの構築

OnSite Visualizeの強力で先進的な技術は、より高度なBIMを提供するために常に進化しています。Autodesk Navisworksのコラボレーションおよびレビュー技術を活用することで、OnSite Visualizeはさまざまなモデル（および追加データ）からの情報を管理可能なマルチユーザーフォーマットに設定および管理することができます。

スマートで効率的な干渉管理

OnSite Visualizeの干渉機能を使用して、干渉を迅速にグループ化およびレビューし、ワンクリックでビューを作成することで、干渉調整の効率を向上させます。

グループ化

Clash Managerとグループ化機能は、プロジェクト内の干渉をグループ化し、迅速にモデルを調整することで貴重な時間を節約するのに役立ちます。ユーザーは、事前設定されたテンプレートを使用するか、自分のグループ化ルールを適用して、干渉データをより管理しやすいタスクに整理できます。Clash Managerは、重複する干渉の管理、優先順位付けと干渉項目のグループ化、ゾーン機能の有効化などの高度な機能を提供します。

Review

このシンプルなツールは、チームがグループ全体の干渉プロパティを即座に変更できるようにすることで、干渉管理にかかる時間を大幅に削減します。ステータスの変更、担当者の割り当て、コメントの追加がこれまで以上に簡単になります。

Viewpoints

ビューポイントの作成がさらに簡単になりました。ビューポイントを選択し、ワンクリックでユーザー定義のフォルダ構造に配置します。

干渉レポート

高度なレポートデザイナー機能を使用して、エグゼクティブダッシュボードから要素のプロパティや視覚的な場所マーカを含む詳細なリストまで、ほぼすべてのステークホルダーのニーズに対応する干渉レポートを作成・カスタマイズできます。

The screenshot displays the iConstruct 2020 Clash Manager interface. The main window shows a table of clashes with columns for Clash Name, Clash Status, Clash Comments, CR1Clash Inst..., CR2Clash Inst..., Severity Dist..., Custom Group..., Custom Clash..., and Clash Group C... The table lists several clashes, including Clash6, Clash74, Clash111, Clash272, Clash399, and Clash400, all with a status of 'New'. To the right, there is a 3D model view showing a building structure with a red line indicating a clash. Below the 3D view, there is a table with columns for Clash Item, Status, ID, Name, and Category, listing Clash Item 1, Clash Item 2, and Clash Item 3.

Clash Name	Clash Status	Clash Comments	CR1Clash Inst...	CR2Clash Inst...	Severity Dist...	Custom Group...	Custom Clash...	Clash Group C...
Test Name: Structural vs HVAC								
Zone Group: Zone 1								
Grid Level: Level 1								
Grid Level: Level 2								
Clash6	New		6	7	-0.628509430...			
Clash74	New		6	1	-0.085678491...			
Clash111	New		1	7	-0.062725792...			
Clash272	New		1	1	-0.018740172...			
Clash399	New		1	2	-0.011120176...			
Clash400	New		1	2	-0.011120176...			
Grid Level: Level 3								
Grid Level: Level 3 TOS								
Grid Level: Level 4								
Grid Level: Level 5								
Grid Level: Level 5 TOS								
Grid Level: Level 6								
Zone Group: Zone 2								
Zone Group: Zone 3								
Zone Group: Zone 4								

Clash Item	Status	ID	Name	Category
Clash Item 1	New	710558	W21457	Structural Framing
Clash Item 2	New	562291	Tags	Druth

「OnSite Visualizeを使用せずに、特に大規模なインフラ建設プロジェクトを進めることは想像できません。」

Belinda Thompson様 - GHD Western BIMリード | オーストラリア

モデル調整とデータ管理

一貫性があり、実用的なモデルの作成において、さまざまなツールが連携してモデルの調整とデータ管理を強化します。

ReConstruct

モデルの階層を再編成・グループ化し、工程ごとに最適な選択ツリーを構築できる強力なツールです。さらに、断面（セクションプレーン）や直方体ゾーンで切り出したモデルをエクスポートし、持ち運び可能なファイルとして共有できます。

Integrator

Integratorは、ユーザーがNavisworks内で独自のカスタムデータタブを作成できるようにします。これは、1つ以上の読み取り専用データタブからデータを取得し、それらを1つに統合することによって実現されます。アイテムプロパティに関連するExcelの数式を解析する機能は、OnSite Visualizeユーザーのお気に入りのツールの1つとなっています。

データリンク

Data Linksは、外部データソースから関連情報を取り込み、Navisworksモデル内に表示します。

データの出力

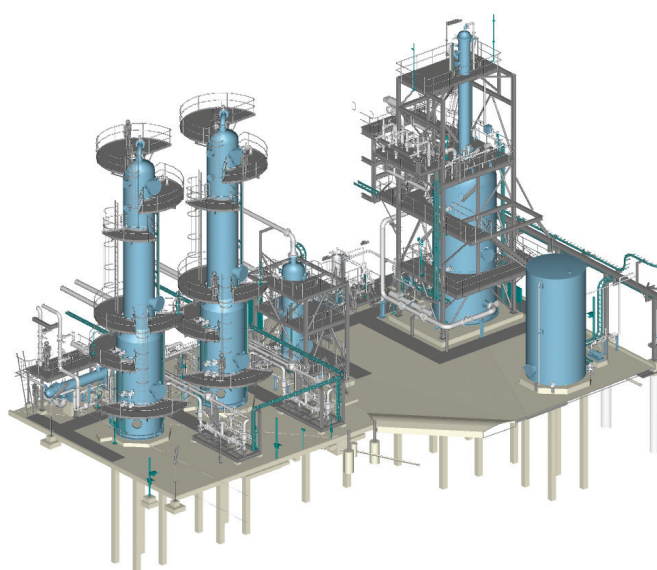
Export Data機能により、ユーザーはNavisworksモデル内のデータからカスタマイズされたレポートをExcel、MS Access、PDFなどのさまざまな形式でエクスポートできます。

タスク自動化

BIMflowを使用して、頻繁に使用されるOnSite VisualizeおよびNavisworksのルーチン、複数ステップまたは繰り返しのタスクを自動化し、スケジュール設定します。

BIMflow

BIMflowアプリケーションは、すべてのエンジニアリングプロジェクトの生産性を最大化し、プロセスを合理化します。ユーザーは自分のワークフローを設計し、アイデアを実践に移すことができます。BIMflowで作成されたワークフローには、OnSite VisualizeのモジュールやNavisworksの機能を含めることができます。BIMflowが設計され、実行されると、すべてのコマンドと機能の一つずつ順に実行し、無人モードでフェデレーテッドモデルを作成します。



「OnSite Visualizeを使用する前は、データが異なる情報サイロに分散しており、必要な情報を効率的にリンクすることができませんでした。OnSite Visualizeは、すべてのデータを統合し、モデル内に収めることを可能にし、報告可能なデータを生成するためのドライバーとして使用できるようにしてくれました。さまざまなソースからデータを集め、報告のためのデータソースとしてモデルを使用しました。これらの変化は私たちにとって非常に重要でした。」

Ciaran McCreary様 - Mercury, Life Science and Technology - BIM Manager



「レポート作成の時間が短縮されたことで、プロジェクトの調整と建設可能な状態にするというコア業務により集中できるようになりました。」

Nathan Trevaskis様 - Bimfire Director

Octaveについて

Octaveは、データを確かなアクションへ、そしてインテリジェンスを競争優位へと変革するエンタープライズソフトウェアのリーダーです。Octaveのソフトウェアは、設計・建設から、人・施設・資産の運用および保護に至るまで、あらゆる範囲・あらゆる規模における複雑性を解決し、シンプルにします。私たちは数十年にわたり、お客様とのパートナーシップを通じて、パフォーマンスの向上、効率性の最大化、そして成果の拡大を支援してきました。工場の現場から都市全体に至るまで、Octaveのソリューションは導入初日から可能性をスケールアップさせるよう最適化されています。

©2026 Intergraph Corporation and/or its affiliates. All rights reserved.